



**2008年度(2009年3月期)
決算説明資料**

2009年4月27日

株式会社 商船三井

目次

2008年度 連結決算概要	2
2008年度 連結決算の要点	4
連結 経常利益 前年同期比増減要因分析	5
2009年度 連結業績予想	6
2009年度 業績予想の要点	8
[補足資料]	
連結営業外・特利損／単体運航費	9
ドライバルク船市況	10
油送船市況	11
自動車輸送台数	12
主要コンテナ船航路消席状況	13
MOL ADVANCE 全体利益計画	14
安定利益	15
キャッシュフロー・設備投資	16
MOL ADVANCE 財務計画	17

2008年度 連結決算概要

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

	2008年度通期			2007年度 実績	増減		'09/1/30 通期見通し	差異
	実績	上期実績	下期実績					
売上高	18,658	10,948	7,710	19,457	△799	△4.1%	19,000	△342
営業利益	1,972	1,646	326	2,913	△941	△32.3%	2,000	△28
経常利益	2,045	1,860	185	3,022	△977	△32.3%	2,100	△55
当期純利益	1,270	1,240	30	1,903	△633	△33.3%	1,300	△30

為替(期中平均)	¥100.30/\$	¥104.91/\$	¥95.69/\$	¥115.55/\$	△¥15.25/\$	¥99.63/\$	+¥0.67/\$
燃料単価(期中平均)	\$528/MT	\$608/MT	\$434/MT	\$409/MT	+\$119/MT	\$497/MT	+\$31/MT
					△936億円		△68億円
					↑		↑
					△580億円	(為替)	+25億円
					△357億円	(燃料単価)	△93億円

為替 Sensitivity 年間(2008年度) ±38.0 億円/1¥ (最大)
 燃料単価 Sensitivity 年間(2008年度) ±3.0 億円/1\$ (最大)
 (連結経常損益ベース)

[セグメント別]

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		2008年度通期			2007年度 実績	増減		'09/1/30 通期見通し	差異
		実績	上期実績	下期実績					
不定期専用船事業	売上高	9,985	5,949	4,037	10,248	△263	△2.6%	10,100	△115
	経常利益	2,133	1,712	422	2,776	△642	△23.1%	2,130	+3
コンテナ船事業	売上高	6,397	3,720	2,677	6,868	△471	△6.9%	6,500	△103
	経常利益	△213	△22	△191	69	△282		△150	△63
ロジスティクス事業	売上高	563	328	235	612	△50	△8.1%	580	△17
	経常利益	8	9	△1	22	△14	△62.9%	10	△2
フェリー・内航事業	売上高	545	292	253	531	+14	+2.7%	570	△25
	経常利益	△9	△3	△6	5	△14		0	△9
関連事業	売上高	1,070	611	460	1,089	△18	△1.7%	1,160	△90
	経常利益	130	72	58	138	△8	△6.1%	132	△2
その他事業	売上高	97	48	49	109	△11	△10.6%	90	+7
	経常利益	28	14	14	50	△22	△44.7%	27	+1
消去・全社	売上高	-	-	-	-	-	-	-	-
	経常利益	△32	79	△111	△38	+6	+15.5%	△49	+17
連結	売上高	18,658	10,948	7,710	19,457	△799	△4.1%	19,000	△342
	経常利益	2,045	1,860	185	3,022	△977	△32.3%	2,100	△55

「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

不定期専用船事業には、ドライバルク船部門、油送船部門、LNG船部門、自動車船部門の部門業績を含む

2008年度 連結決算の要点

【概況】

- リーマン・ショック(2008年9月)以降、荷動き、海運市況が急速に悪化。
- 燃料油高(平均単価\$119上昇)、円高(¥15.25)も業績を圧迫し、減収減益。
- 経常利益は直近予想比▲3%の2,045億円。

【セグメント別】 *()内数字は経常利益の2007年度対比

不定期専用船事業 (▲642億円)

- ドライバルク船部門：スポット船市況は上期に歴史的な高値を記録後、下期急落。中長期契約船より利益を確保するも減益。
- 油送船部門：上期は原油タンカー、石油製品船とも市況堅調。下期以降、市況は緩やかに下落するも増益達成。原油タンカー全船ダブルハル化完了。
- 自動車船部門：11月以降荷動き急減し減益。

コンテナ船事業 (▲282億円)

北米東航積取り1割減。欧州西航は下期から積取り・運賃ともに急速に悪化し、運賃4割減。減速航海、減便等の合理化対策に注力するも大幅減益。

- ### 【特別損失】
- ①高コスト船の返船に伴い傭船解約金201億円計上⇒次期以降に損益改善効果
 - ②株式市場下落を受け投資有価証券評価損32億円を計上。

【配当】年間配当予定 1株あたり31円 (うち15.5円は中間配当として実施済み)

連結 経常利益 前年同期比増減要因分析

円高	△580 億円	(当期 ¥100.30/\$; ¥15.25 の円高)
燃料油価格上昇	△357 億円	(当期 \$528/MT; \$119 上昇)
積取り・運賃変動等	△305 億円	
コスト削減	+283 億円	
持分法投資損益増減	△22 億円	
その他(消去または全社含む)	+4 億円	
(差し引き)	△977 億円	

2009年度 連結業績予想

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

	2009年度	2008年度	増減	
売上高	14,000	18,658	△4,658	△25.0%
営業利益	800	1,972	△1,172	△59.4%
経常利益	800	2,045	△1,245	△60.9%
当期純利益	400	1,270	△870	△68.5%

	2009年度 上期	2008年度 上期	増減	
	6,700	10,948	△4,248	△38.8%
	240	1,646	△1,406	△85.4%
	240	1,860	△1,620	△87.1%
	100	1,240	△1,140	△91.9%

為替(期中平均)	¥97.00/\$	¥100.30/\$	△¥3.30/\$
燃料単価(期中平均)	\$300/MT	\$528/MT	△¥228/MT
			<u> </u>
			+400億円
			↑
			△56億円
			+456億円

為替(期中平均)	¥97.00/\$	¥104.91/\$	△¥7.91/\$
燃料単価(期中平均)	\$300/MT	\$608/MT	△¥308/MT
			<u> </u>
			+241億円
			↑
			△134億円 × 1/2
			+616億円 × 1/2

(為替)
(燃料単価)

為替 Sensitivity 年間(2009年度) ±17.0 億円/1¥ (最大)
 燃料単価 Sensitivity 年間(2009年度) ±2.0 億円/1\$ (最大)
 (連結経常損益ベース)

[セグメント別]

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		2009年度	2008年度	増減		2009年度 上期	2008年度 上期	増減	
不定期専用船事業	売上高	7,100	9,985	△2,885	△28.9%	3,300	5,949	△2,649	△44.5%
	経常利益	850	2,133	△1,283	△60.2%	290	1,712	△1,422	△83.1%
コンテナ船事業	売上高	4,800	6,397	△1,597	△25.0%	2,350	3,720	△1,370	△36.8%
	経常利益	△200	△213	+13	△6.2%	△130	△22	△108	
ロジスティクス事業	売上高	540	563	△23	△4.0%	270	328	△58	△17.6%
	経常利益	8	8	△0	△2.7%	2	9	△7	△78.3%
フェリー・内航事業	売上高	560	545	+15	+2.7%	290	292	△2	△0.7%
	経常利益	11	△9	+20		6	△3	+9	
関連事業	売上高	910	1,070	△160	△15.0%	445	611	△166	△27.1%
	経常利益	101	130	△29	△22.2%	55	72	△17	△23.4%
その他事業	売上高	90	97	△7	△7.5%	45	48	△3	△6.8%
	経常利益	40	28	+12	+44.6%	21	14	+7	+54.0%
消去・全社	売上高	-	-	-	-	-	-	-	-
	経常利益	△10	△32	+22		△4	79	△83	
連結	売上高	14,000	18,658	△4,658	△25.0%	6,700	10,948	△4,248	△38.8%
	経常利益	800	2,045	△1,245	△60.9%	240	1,860	△1,620	△87.1%

「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

不定期専用船事業には、ドライバルク船部門、油送船部門、LNG船部門、自動車船部門の部門業績を含む

2009年度 業績予想の要点

【概況】

- 世界的景気悪化に伴い足元の海運市況は低迷。
- 各国財政出動の効果や在庫調整一服により年央以降の市況回復を想定。
- 需要減に対し、返船、スクラップ、係船等による供給調整を実施。
- グループ全体で400億円規模のコスト削減。

【セグメント別】

不定期専用船事業

- ドライバルク船部門 : 中国と鉄鉱石メジャーとの鉄鉱石価格交渉決着後の市況回復が想定されるも、前年度比較での市況悪化は避けられず減益予想。
- 油送船部門 : 下期以降石油需要の回復が想定されるも、前年度比減益を予想。

コンテナ船事業

船腹供給調整とコスト削減を実施するも、荷動きの本格的回復には時間を要す。

【為替・燃料単価Sensitivity】

2009年度の予想利益、想定燃料消費量に合わせsensitivityを変更。

	2008年度	⇒	2009年度
為替Sensitivity(年間)	±38.0億円/¥1	⇒	±17.0億円/¥1
燃料単価Sensitivity(年間)	±3.0億円/\$1	⇒	±2.0億円/\$1

【配当】 今後の経営環境を見極めた上で決定。

[補足資料]

連結 営業外・特利損／単体運航費

1. 連結 営業外収益・費用明細 (2008年度)

(億円)

[億円未満切捨て]

営業外収益 314

うち:

受取利息	28
受取配当金	50
持分法投資利益	159
為替差益	-
その他営業外収益	74

営業外費用 241

うち:

支払利息	139
為替差損	46
その他営業外費用	55

2. 連結 特別利益・損失明細 (2008年度)

(億円)

[億円未満切捨て]

特別利益 202

うち:

船舶売却益	121
投資証・関係会社株売却益	0
その他固定資産売却益	1
傭船解約金	55
その他特別利益	23

特別損失 270

うち:

船舶売却損	1
投資証・関係会社株売却損	0
その他固定資産除売却損	6
投資有証評価損	32
傭船解約金	201
その他特別損失	29

3. 単体 運航費明細

(百万円)

	2008年度	2007年度
港費	79,206	80,534
貨物費計	206,172	244,480
内訳: 荷役費及び接続費	178,711	209,410
歩金仲介料	23,287	28,040
一般貨物費	4,174	7,030
燃料費	331,609	278,416
雑費	4,261	4,075
合計	621,248	607,506

ドライバルク船市況

1. 2008年度 ドライバルク船市況

(スポット契約の1日あたり傭船料)

単位:ドル

船型	対象航路	2007年度	2008年度				
		通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
		実績平均	実績	実績	実績	実績	実績
ケープサイズ	4航路平均	126,600	176,300	118,000	10,000	23,200	81,900
パナマックス	太平洋ラウンド	59,400	68,300	46,000	6,400	7,200	32,000
ハンディマックス	太平洋ラウンド	48,000	51,500	40,900	7,400	6,400	26,600
スモールハンディ	太平洋ラウンド	33,200	34,900	30,500	5,600	5,900	19,200

実績出典: The Baltic Exchange (ケープサイズ)、Tramp Data Service (パナマックス以下)

2. 2009年度 ドライバルク船市況見通し

単位:ドル

船型	対象航路	2009年度		
		上期	下期	通期
		見通し	見通し	見通し
ケープサイズ	4航路平均	23,000	28,000	25,500
パナマックス	太平洋ラウンド	11,500	14,000	12,750
ハンディマックス	太平洋ラウンド	12,000	13,000	12,500
スモールハンディ	太平洋ラウンド	9,000	12,000	10,500

油送船市況

1. 2008年度 油送船市況 (スポット契約の運賃指標)

単位: ワールドスケール (WS)

船型	対象航路	2007年度	2008年度				
		通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
		実績平均	実績	実績	実績	実績	実績
原油船 (VLCC)	Arabian Gulf- 極東アジア	90	160	136	75	62(*1)	108(*2)
石油製品船 (MR型)	Singapore- 極東アジア	269	249	344	298	111	251

実績出典: Drewry "Shipping Insight"

*1: 2008年ベースでの表示。2009年1月よりWSの基準運賃は約4割上昇しており、
2009年ベースでは WS44に相当する。

*2: 2008年ベースでの表示。2009年ベースではWS77に相当する。

2. 2009年度 油送船市況見込み

単位: ワールドスケール (WS)

船型	対象航路	2009年度		
		上期	下期	通期
		見通し	見通し	見通し
原油船 (VLCC)	Arabian Gulf- 極東アジア	40	60	50

* WSは2009年ベースでの表示。

自動車輸送台数

(1000台)

(完了ベース／航海備船を含む)	2009年度 上期見通し	2008年度			2007年度 通期(B)	増減 (A)-(B)
		上期	下期	通期(A)		
合計	763	1,491	1,061	2,552	2,783	△231

主要コンテナ船航路 消席状況

(単位:1000TEU)

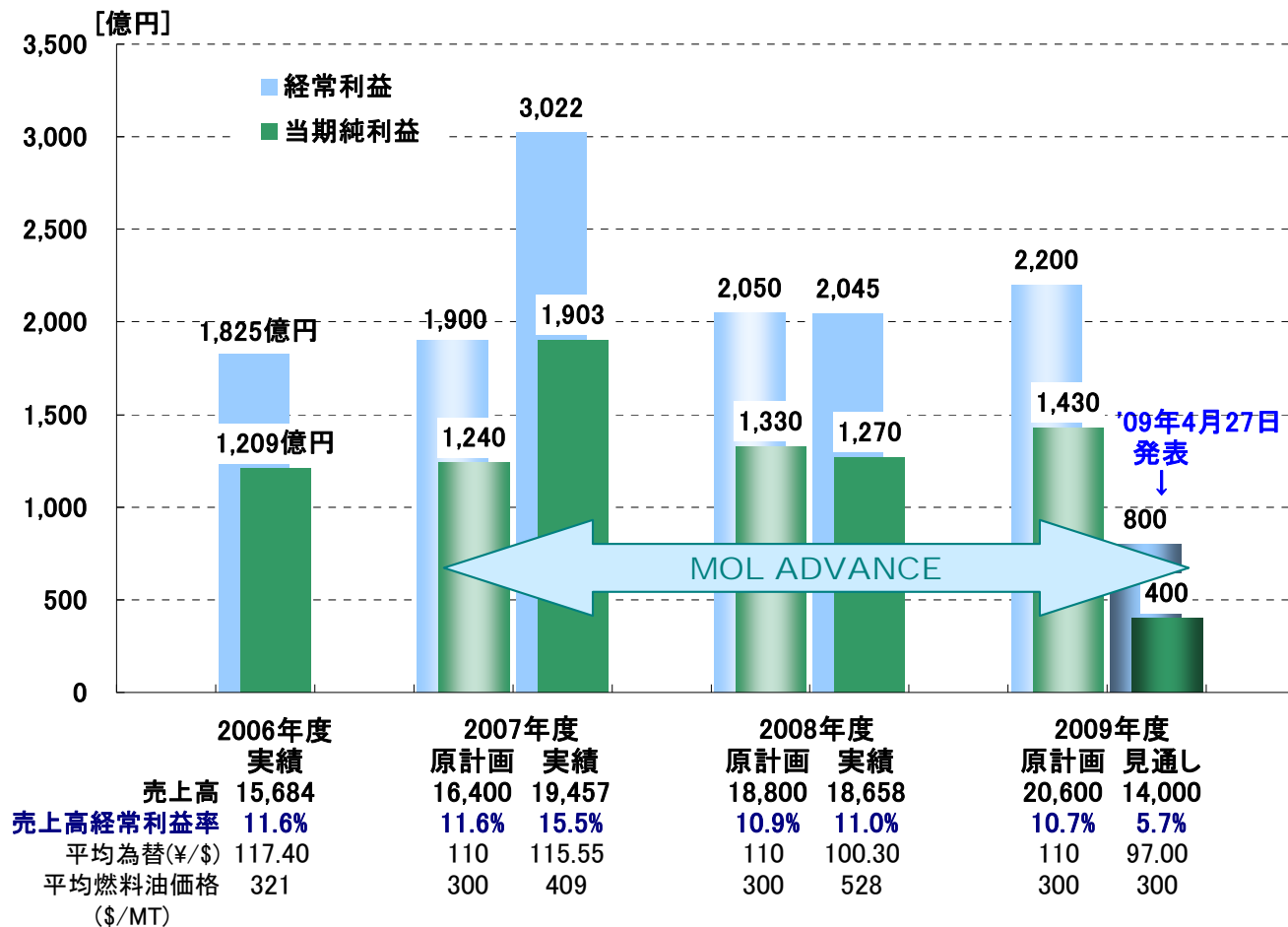
北米航路(アジア/北米)

		往航							復航						
		保有			稼働			消席率	保有			稼働			消席率
2008年度	下期	第4四半期	116	257	100	225	86%	88%	116	260	75	157	64%	61%	
		第3四半期	141	567	125	498	89%	88%	144	563	82	341	57%	61%	
	上期	第2四半期	158	310	148	273	94%	88%	155	303	97	184	62%	61%	
		第1四半期	152		125		82%		148		87		59%		
2007年度	下期	第4四半期	139	300	121	265	87%	88%	129	288	78	161	60%	56%	
		第3四半期	161	603	144	558	89%	93%	159	582	83	331	52%	57%	
	上期	第2四半期	161	303	155	292	96%	97%	154	293	87	169	56%	58%	
		第1四半期	142		138		97%		139		82		59%		

欧州航路(アジア/欧州)

		往航							復航						
		保有			稼働			消席率	保有			稼働			消席率
2008年度	下期	第4四半期	95	205	86	192	91%	94%	100	215	55	120	55%	56%	
		第3四半期	110	467	106	438	96%	94%	115	474	65	255	56%	54%	
	上期	第2四半期	134	262	125	246	94%	94%	132	259	67	135	51%	52%	
		第1四半期	129		121		94%		127		68		53%		
2007年度	下期	第4四半期	125	243	111	222	88%	91%	120	227	64	127	53%	56%	
		第3四半期	118	463	111	440	94%	95%	107	436	63	256	58%	59%	
	上期	第2四半期	110	220	109	218	99%	99%	104	209	64	129	62%	62%	
		第1四半期	110		109		100%		105		65		62%		

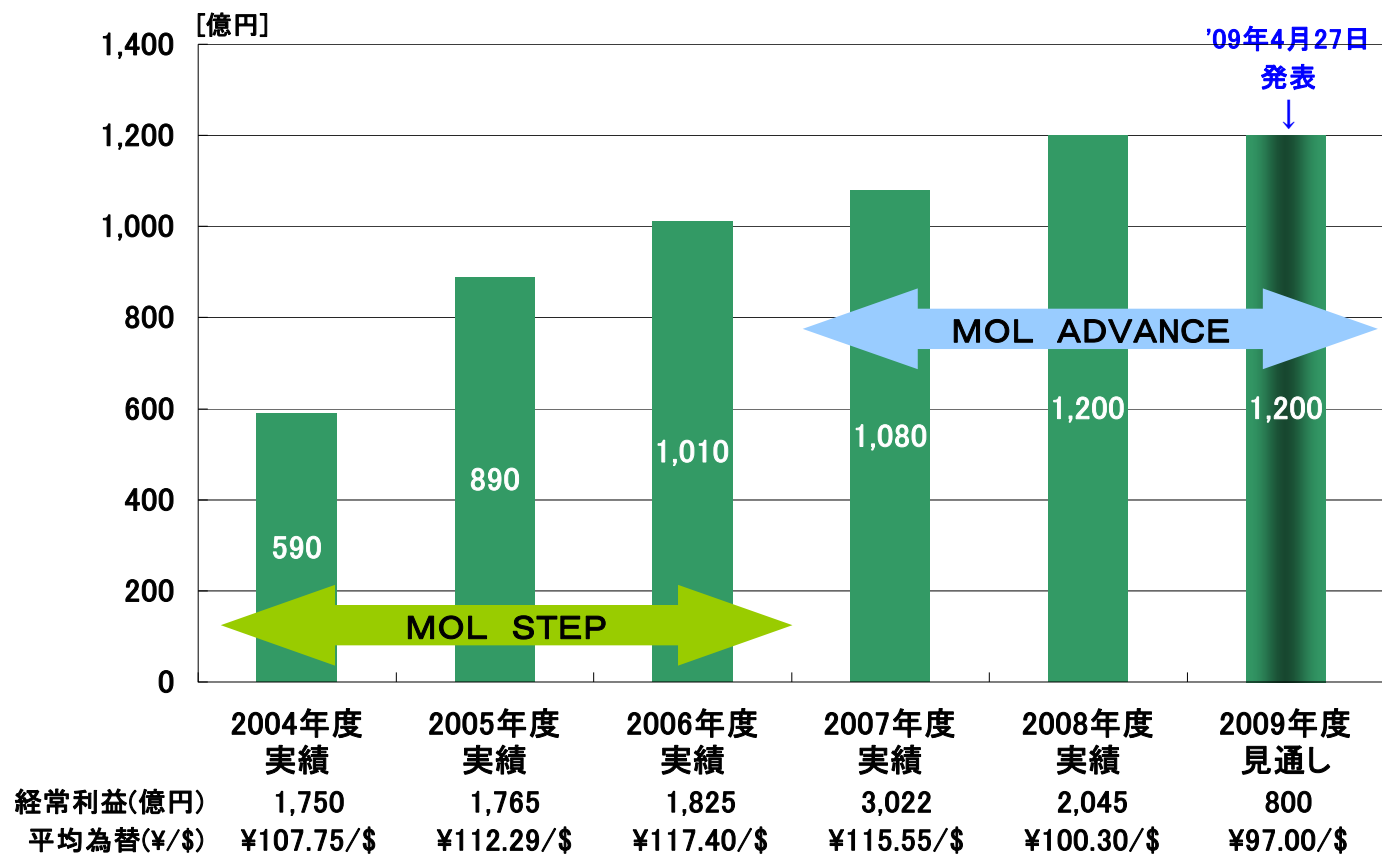
MOL ADVANCE 全体利益計画



為替Sensitivity	年間(最大)	±17億円/1¥	(2009年度)
燃料油価格Sensitivity	年間(最大)	±2億円/1\$	(2009年度)

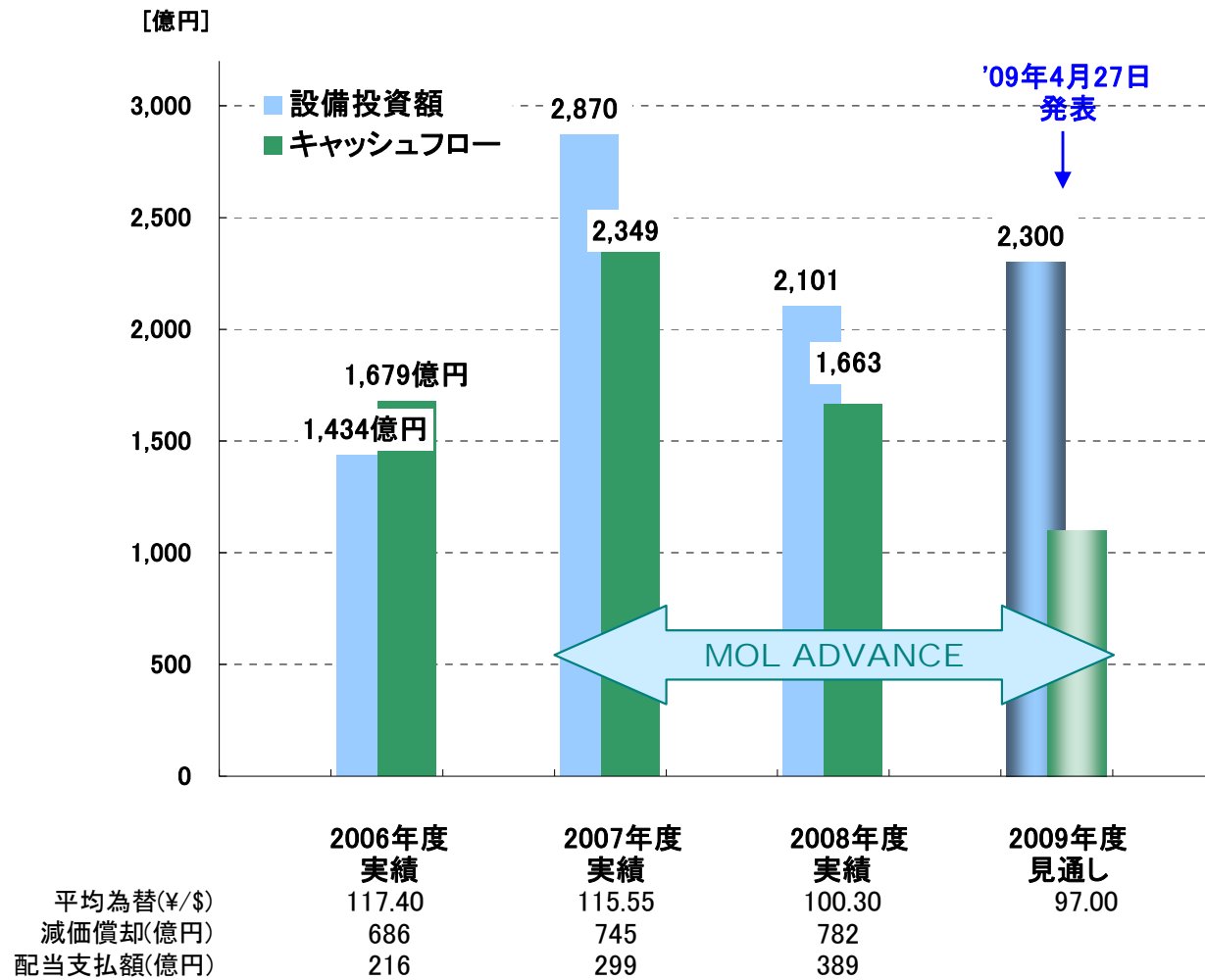
原計画は2007年3月に発表した中期経営計画「MOL ADVANCE」での計画値

安定利益



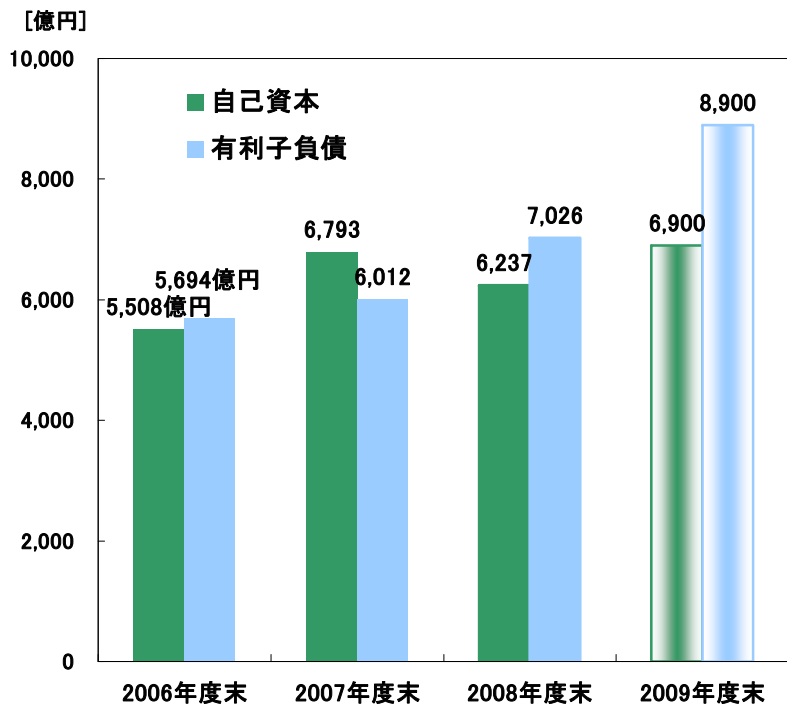
『安定利益』=1年を超える中長期契約により確定している利益、及び安定性の高い事業の利益

キャッシュフロー・設備投資



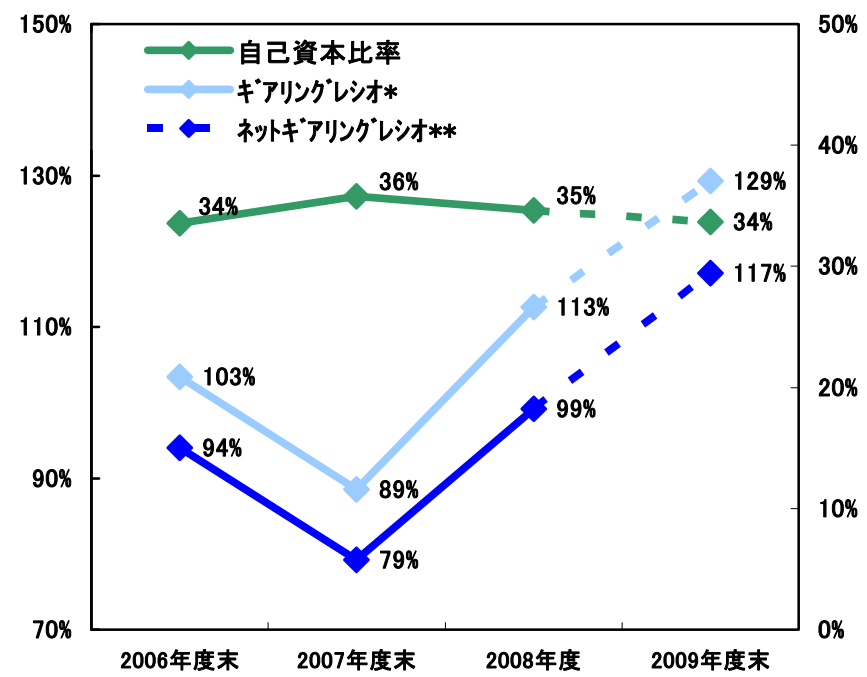
註) キャッシュフロー = 当期純利益 + 減価償却 - 配当支払額

MOL ADVANCE 財務計画



ギアリングレシオ

自己資本比率



	2006年度末	2007年度末	2008年度末	2009年度末
期末為替(¥/\$)				
単体	118.05	100.19	98.23	97.00
海外会社	119.11	114.15	91.03	97.00

注: '09年4月27日発表見通し

*ギアリングレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本
 **ネットギアリングレシオ = (有利子負債 - 現金及び預金) ÷ 自己資本